

桶川発

がんばる企業紹介

第17回 サムライトレーディング

市内で元気ががんばる商店や会社などの活動をインタビュー形式で紹介します。今回は、プラステック事業や食品添加物の開発・輸出などを手掛ける株式会社サムライトレーディングの櫻井裕也さんにお話を伺いました。



櫻井裕也 代表取締役

■企業概要

サムライトレーディングは主に、「プラシエル」を開発するため、平成29年に立ち上げた会社です。

「プラシエル」は、第8回渋沢栄一ビジネス大賞のベンチャースピリット部門で奨励賞のほか、(二財)品川ビジネスクラブ主催の第9回ビジネス創造コンテストで奨励賞を受賞しています。

■プラシエルの開発経緯

大手外食チェーン店向けのデザー

トの商品開発に携わっていたとき、産業廃棄物として大量に出る「卵の殻」について、課題として考えていました。

また、海外視察の際に「プラステック容器」が使われていない状況に気付き、海外では、プラステックの環境汚染問題について国を挙げて取り組んでいることを知りました。

今後、プラの環境汚染問題は日本にも波及してくると確信し、商品開発を進め、実用化に至りました。

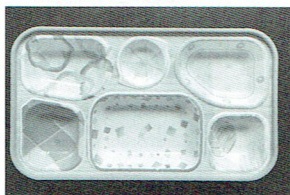
今年になって、マイクロプラスティックの海洋汚染がクローズアップされ、ようやく日本でも問題提起されましたね。

■プラシエルについて

開発した「プラシエル」は、産業廃棄物となる卵の殻を60%以上配合したバイオマスプラスティック(※1)です。「プラシエル」は、通常のプラスティックの加工と同じ設備で作ることができると、新たな設備投資の必要がありません。また、通常のプ



▲プラシエル製品「メールボックス」



▲プラシエル製品「トレイ」

ラスティックと同程度の価格で製造・販売できるメリットがあります。

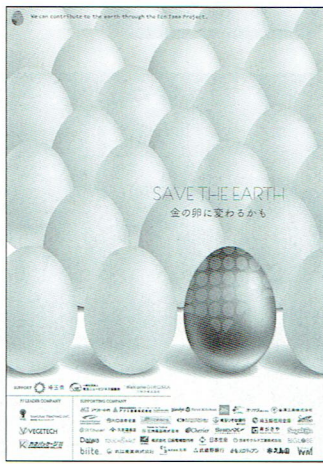
すでに「プラシエル」製品は、皆さんの身近にあつて、外食チェーン店のトレイや箸、大手保険会社のノベルティグッズなどに使われています。

■エコ玉プロジェクト

プラの環境汚染問題について、出遅れている日本の現状を変えようと、私たちが舵取り役を担い、「エコ玉プロジェクト」と題した取り組みを始めました。

この取り組みは、バイオマスプラの普及促進を目的に、6月からスタート。すでに39社が参加しています。

今後、参加企業から協賛金を募り、マンガローブの植林、ユニセフ、国境なき医師団などに活動資金を寄贈する社会貢献活動も展開していきたいと考えています。



■今後の展開

安価で安定供給できる「プラシエル」を普及させると共に、生分解性

プラスティック(※2)の商品開発・実用化も視野に入れています。

すでに、海外から生分解性プラの原料を仕入れられる環境が整ったので、どの企業と組むか検討中です。大手コンビニのSやFの人気商品に当社の製品が使われる日がくるかもしれません(笑)

■企業理念

企業理念は、書き出したらきりがないので、掲げていません。

大原則として、みんなが喜ぶWIN-WINの関係でビジネスしないとダメですね。

■活動の源泉

私の根底にあるものは、父がよく歌っていた森進一の「おふくろさん」の一節、おまえもいつかは世の中の傘になればと教えてくれた(笑)ですね(笑)。また、「与えよ」「与えよ」「与えよ」という言葉も好きです。

やりたいことが頭の中に溢れているので、これからもスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。

問合せ **サムライトレーディング**
789-0808

(※1) バイオマスプラスティックとは、生物由来の資源を原料とし、環境に配慮したプラスティックのこと

(※2) 生分解性プラスティックとは、微生物などにより分解され、自然に帰るプラスティックのこと。